

平素より大変お世話になっております。  
このたび小社では、標記の書籍を刊行する運びとなりましたのでご案内申し上げます。



**親鸞**  
**山口晃**  
**全挿画集**

融通無碍な発想!  
変幻自在の筆さばき!!

時に爆笑! たまに失笑?!

なんでもござれの山口劇場、  
ここに開幕!!

## 新聞小説連載当時から求める声の多かった「親鸞」挿画集、ついに完成!

五木寛之作による「小説親鸞」は全国の主要地方紙約40紙(最大時)に配信という、新聞小説連載史上空前の規模で、『親鸞』『親鸞 激動篇』『親鸞 完結篇』の三部作として2008年9月に始まり、2014年7月に完結するまで足かけ7年に渡り連載されました。大きな話題を呼んだのが山口晃による挿画でした。

本書はその全1052回分の挿画をコンプリートした挿画集です。

山口は、連載を開始するにあたって五木氏から言われた「思う存分やって下さい」との言葉どおり、縦横無尽に筆を走らせます。ペン、墨、鉛筆を使った繊細なタッチに始まり、コミック調のコマ割り、銅版画風の緻密な表現、大和絵風鳥瞰図、ダジャレ絵解き、ファンにはお馴染み『すゞしろ日記』風のエッセー漫画などなど……。次から次へと繰り出されるアイデアは尽きることがありません。

本書では全挿画に加え、ボツになったり山口自身が気に入らずに差し替えになった画や、ラフスケッチもいくつか収録しています。加えて、全挿画には山口本人による解説コメントが付いており、小説の筋を逸脱した絵や絵解きめいた絵の理解にも役立つようになっています。

新聞小説挿画の常識を覆した怪物がいかにして産み出されたのか、その背景に迫る渾身の一書です。

### ■ イベント情報

○山口晃『親鸞 全挿画集』  
刊行記念展

日時：2019年2月1日(金)  
～2月24日(日)

会場：銀座蔦屋書店  
アートウォールギャラリー

○『親鸞 全挿画集』  
刊行記念トークショー

日時：2019年2月15日(金)  
19時開演

会場：紀伊國屋ホール  
(紀伊國屋書店新宿本店4F)

料金：1000円(税込)/全席指定

詳細：<https://www.kinokuniya.co.jp/c/label/20190107094500.html>



### ■ 書籍情報

発行：2019年2月  
書名：山口晃 親鸞 全挿画集  
著者：山口晃  
判型：B5変形/並製  
総頁：696頁  
定価：本体5,500円+税  
ISBN：978-4-86152-479-0 C0071

### ■ 著者プロフィール

#### 山口晃(やまぐち・あきら)

画家。1969年東京都生まれ。群馬県桐生市育ち。1996年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)修士課程修了。2012年から13年にかけて「山口晃展」が3都市を巡回し、地元群馬の県立館林美術館で「山口晃展 画業ほぼ総覧—お絵描きから現在まで」が開催される。2015年から16年にかけては、水戸芸術館現代美術ギャラリー、霧島アートの森、他で個展が相次いで開かれた。成田国際空港、副都心線西早稲田駅や大分駅のパブリックアート、山梨県富士山世界遺産センターのシンボル絵画を手がける一方、新聞小説や書籍の挿画・装画、CDジャケットなど活動の幅は多岐にわたる。文筆においても、2012年刊行の『ヘンな日本美術史』が第12回小林秀雄賞を受賞。2017年には群馬県桐生市初の芸術大使に就任し、ますます意欲的な活動を展開。

著者への取材、画像の手配などご要望がございましたら、下記担当までご一報お願いいたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社青幻舎 〒604-8136 京都市中京区三条通烏丸東入梅忠町9-1 TEL 075-252-6766/FAX 075-252-6770

広報担当・新庄: [shinjo@seigensha.com](mailto:shinjo@seigensha.com)

## ■ 本書の中身紹介

「思う存分やって下さい」——。

お言葉通り拙い筆ながら力をふり絞って思う存分やっておりましたら、割と早い段階で先生の指導を頂きました。

「ものには限度がある」「言葉を全て真に受けてはいけない」

其う云う当たり前の事に改めて気付かされる三十九歳の秋でした。

——山口晃（本書より）

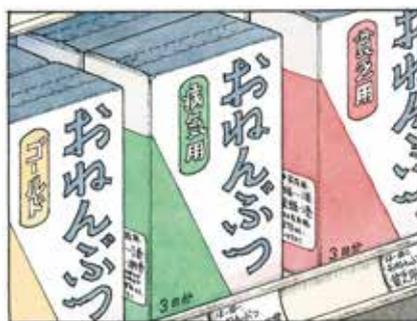
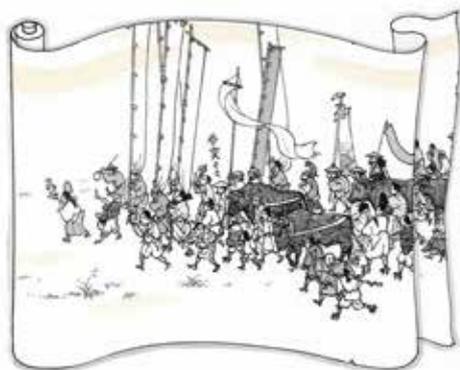
### 第一部 『親鸞』

京都を舞台に比叡山で修行に励みつつ煩惱に苦しむ、8～35歳の若き日の親鸞が青春群像劇として生き生きと描かれた。

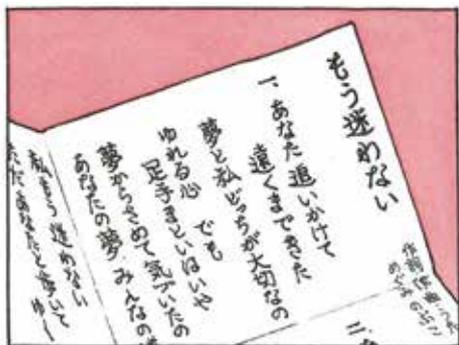


### 第二部 『親鸞 激動篇』

越後へ追放され、そして関東を流浪する親鸞。土地の人々と交わるなかで、師の教えに追いつき追い越そうと苦悩する、36～61歳の姿が活写された。

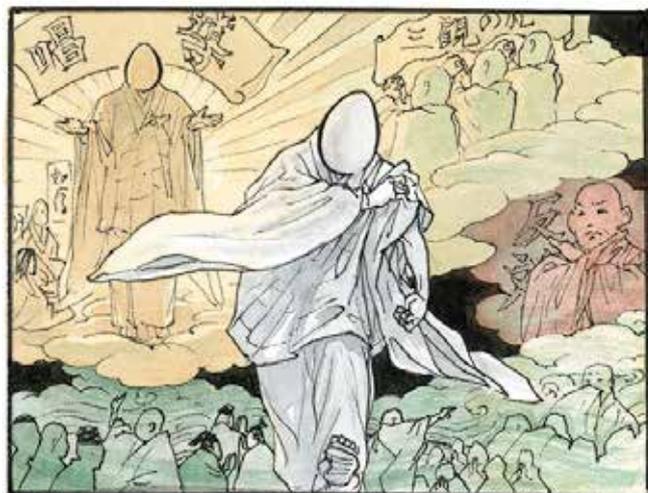
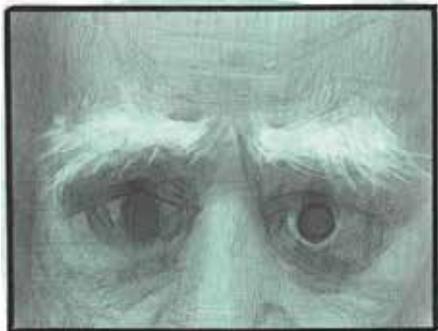


## ■ 本書の中身紹介



### 第三部 『親鸞 完結篇』

京都へ帰還した親鸞。最も多くの業績を残したといわれる61歳から90歳までの、師を超えていく聖人の軌跡が、活気あふれる群像劇として綴られた。



## ■ 本書の中身紹介

スペシャルコンテンツとして新聞連載掲載以外の図版を収録!

### ラフプラン

原稿を読んだときの最初のイメージやアイデアを描き留めたもの



新聞連載掲載図版

### スケッチ

ラフプランを受けて、イメージを膨らませたもの



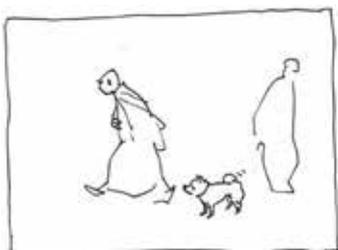
新聞連載掲載図版



**描きさし** 何か違うと思い、本画の途中で筆をおいたもの



新聞連載掲載図版



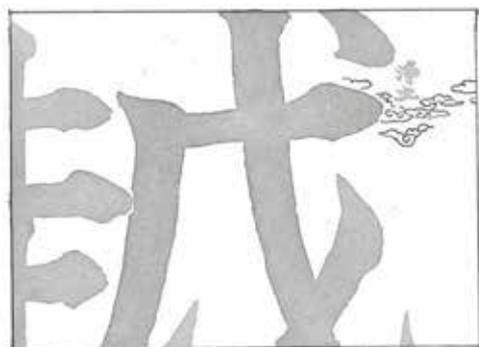
### 差し替え

当人及び他の事情により掲載しなかったもの



新聞連載掲載図版

**描き損じ** 仕上げてみたものの、納得いかなかったもの



新聞連載掲載図版

